

企画名：核燃料サイクル問題の見える化プロジェクト

団体名：特定非営利活動法人 原子力資料情報室

1. 報告要旨

様々な原子力にまつわる課題の中でも特に核燃料サイクルは、環境影響、核拡散、経済性、技術面など様々な面で問題が大きい。一方でその複雑さから、市民の関心は必ずしも高いとは言えない状況に留まっている。そこで、市民の問題関心を高めるために、核燃料サイクルの問題に関する情報を集約、わかりやすく解説するウェブサイト構築、またウェブサイト公開を記念して、国内外の有識者を招いたシンポジウムを開催した。

2. 成果物

1. 核燃料サイクルの問題に関する情報を集約し、わかりやすく解説したウェブサイト「[一緒に考えよう日本の核燃料サイクル](#)」の構築（2022.4）
2. 公開したウェブサイトを広く周知するための[ショートビデオ](#)制作（2022.4）
3. サイト開設記念シンポジウム「[核危機と平和利用—六ヶ所再処理工場の操業が持つ意味](#)」開催（2022.4.28）
4. 岡田広行「[総裁選の争点、核燃料サイクル政策『破綻』の現実味 原発の新設・更新進まず、再処理は行き詰まる](#)」『東洋経済』（2021.9.28）
5. 「[岸田首相が見過ごした核燃料サイクル破綻の必然](#)」『週刊東洋経済』2021年10月23日号（2021.10.18）
6. 川口雅浩「[『核燃料サイクル』推進か撤退か衆院選公約を比較した](#)」『毎日新聞経済プレミア』（2021.10.27）